



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第23号

発行:2008年3月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守



7年目を迎えた音楽クラブと音楽療法

認定音楽療法士 村山 進

ほうゆう病院開院の半年後、平成13年10月より老年精神医療に貢献するという病院の理念に基づいて、音楽クラブとしての音楽療法を行ってまいりました。

各病棟、毎月2回・1セッション50分という少ない回数ではありますが、各病棟の作業療法士を中心に各種の医療スタッフの皆様のご協力とご参加をいただき実施してまいりました。

高齢者に対する音楽療法の目標としてはQOL（クオリティー・オブ・ライフ、生活の質の向上）心身機能の残存機能の維持と改善などが挙げられています。さらにほうゆう病院では、前述の目標にプラス、コミュニケーション能力の向上・問題となる行動の変容を目指すという大きな目標を設定しました。音楽に親しみ、身体を動かす。呼吸のトレーニング。季節を感じる（見当識）。楽器への取り組み（社会性の強化・集中力の回復）とし実施してまいりました。高齢者は大きな変容には、不安を感じるといわれており、大きな流れには固定性を持たせ、安心して参加できるセッションを目指しております。プログラム内容は、出欠の確認（個々への声掛け）、体操、誕生月の方のお祝い、手遊び歌、季節感を意識した歌唱活動、鑑賞、小楽器等を使った合奏などを行ってまいりました。この6年間の中で参加マニュアルを作成し、医療スタッフに周知していただき、効果的な参加をしていただけるよう努めてまいりました。スタッフからも「普段行動されない方が、声を出したり行動された」「徘徊のある方がセッション

中は落ち着いて座っていられた」「コミュニケーションがとれた」などのご報告をいただきました。また、各病棟の窓口となるOTとのカンファレンスも密となり、個々の目的設定や対応の仕方、情報の共有により集団に対する音楽療法ではありますが、その中でも個別の対応ができていると考えます。

ご家族の皆さんの参加も徐々に増え、「歌っていました」「涙を流していました」などの患者様の変化を嬉しそうに話してくださり、ご家族だけでなく、周囲の方に手を差し伸べてくださったり直接の生活歴などの情報提供も多くなってきています。

私事ですが、認定音楽療法士としての認定審査に合格しました。ほうゆう病院でご指導、ご協力をいただきまして感謝いたします。現在、日本音楽療法学会の認定音楽療法士は、全国で1254名（H18年度）、超高齢化社会に向かう中、啓蒙・普及活動を進めようとしています。私自身、さらにより良い音楽クラブを目指して活動していきたいと考えております。どうぞ、スタッフの皆様も今まで以上に楽しみながらご参加いただきたいと思います。



